



小郡市立大原中学校 令和8年10月 8日 第12号

大原中学校だより

校長 末崎 謙次



【学校教育目標】自走と共生に必要な資質・能力を身につけた生徒の育成

仲間とつないだ新チームの一步

9月16日(水)に筑後地区陸上大会が、10月3日(土)に各会場で中体連ブロック新人大会が行われました。3年生からバトンを受け取った1・2年生にとって、初めて迎える大きな大会でした。

試合前には緊張した表情を見せながらも、コートやグラウンドに立つと、これまでの練習で積み重ねてきたことを出そうと、

一生懸命にプレーする姿が見られました。思うような結果につながった人もいれば、悔しい思いをした人もいます。しかし、大会は「勝ったか、負けたか」だけで終わるものではありません。

自分たちの力がどこまで通用したのか。何ができて、何が足りなかったのか。仲間と声を掛け合うことができたか。苦しい場面で最後まであきらめずにプレーできたか。

大会を終えた今だからこそ、一人一人が振り返ってほしいと思います。

今回の大会で私が特に心に残ったのは、勝敗や順位だけではなく、ある部活動では、レギュラーとして出場する予定だった選手が体調を崩し、急きょ別の選手がその穴を埋めることになりました。突然の出番にもかかわらず、その選手はチームの一員として堂々とプレーし、見事に役割を果たしたと聞きました。

スポーツでは、いつも思い描いた通りにいくとは限りません。そんなときに、「自分に何ができるか」と考えて動けるかどうか。普段からそのような気持ちで取り組んでいるか。そこに、チームとしての強さが表れます。

一人の力だけでは、チームは強くなりません。自分の力を伸ばすこと。そして、仲間を信じ、必要なときには自分が支えること。その両方があって、チームは成長していきます。

新人大会は、新チームにとってのゴールではなく、スタートです。

「もっとできた」という悔しさも、「できた」という自信も、すべて次の成長につながります。今回の経験を大切に、先輩から受け取ったバトンを、自分たちらしいチームへと育てていってください。

保護者の皆様には、様々な面で子どもたちを支えていただき、また、大会当日は熱い声援をありがとうございました。これからも、仲間と励まし合いながら成長していく子どもたちの姿を、温かく見守っていただければと思います。

ブロック大会で優勝した「男子バスケットボール部」と「男子バレーボール部」は、うきは市・小郡市三井郡の代表として、筑後地区大会でも頑張ってきてください。

全国学力・学習状況調査「英語」の結果から

中学校英語では、IRT という方法で学力調査が行われました。

本校の平均IRT スコアは488で、福岡県の483を上回り、全国の499を下回っています。IRT バンドの分布を見ると、低いバンド

の割合が全国よりやや多い一方、最も高いバンドの割合は全国をやや上回っています。

※平均IRT スコアとは、何問正解したかだけでなく、どの程度の難しさの問題まで正解できたかも含め、英語の力を数値で表したものです。全国平均を500とする基準で示されています。

※IRT バンド分布とは、IRT スコアを5つの段階に分け、それぞれの段階に何%の生徒がいるかを表したものです。バンド3を基準とし、数字が大きいほど英語の力が高い段階を示します。

英語の結果から見てきたこと

○「聞くこと」では、具体的な情報を聞き取る問題は比較的できていました。一方、社会的な話題について、話の要点や話し手が最も伝えたいことを聞き取る問題の正答率が低くなっています。

→ 一つ一つの情報を聞き取ることに比べ、話全体を聞き、必要な情報を整理して要点を捉える力に課題があると考えられます。

○「読むこと」では、日常的な話題から必要な情報を探すことはできていました。一方、社会的な話題について、読んだ内容を基に、自分の考えとその理由を書く問題の正答率が低くなっています。

→ 文章の内容を読み取るだけでなく、読み取った情報と自分の考えを関連付け、理由を整理して英語で表現する力に課題があると考えられます。

○「書くこと」では、与えられた情報を基に英文を書く問題や、まとまりのある文章を書く問題で、無解答率が比較的高くなっています。特に、複数の情報を整理し、それらを基にまとまりのある英文を書く問題では、無解答率が31.0%でした。(問題14)

→ 考えや理由を英文で表現することに課題が見られました。また、書く内容を考えたり、英文の構成を組み立てたりすることに時間がかかり、最後まで書き切ることができなかった生徒がいたことが考えられます。

課題が見られた問題【問題14 まとまりのある文章を書く】

あなたは、新しく来た留学生に学校生活に慣れてもらうために、学校紹介の冊子を渡すことにしました。
「学校で普段行うことを1つ取り上げ」、「それについての説明」を 15 語以上 30 語以内の英語で書きなさい。

【今後に向けて】

- ・話全体の要点を捉え、読み取った情報と自分の考えを結び付ける活動を充実させます。
- ・「考え→理由→具体例」の構成を意識し、短時間でも最後まで英文を書き切る活動を継続します。
- ・聞く・読む・書く活動を関連付け、英語で自分の考えを表現する力を伸ばしていきます。

